

寒さ

霜

雪

氷

静電気

年始
ドライブ、
その前に

季節のイヤイヤに克つ！ マイカー冬の処方箋

年末のビッグイベントが大掃除だとしたら、年始に外せない家族行事は、初詣や御年始回り。冬本番のこの季節、ドライブ前の準備も季節に即したソレ相応の対策が必要になる。楽しい時間がツライ思い出とならないよう、今のうちに事前の備えをぜひオススメだ！

Index

STEP.1	冬ドライブ「基本対策」	P36-37
STEP.2	旅備え「実走検証」	P38-39
STEP.2	静電気対策「グッズTEST」	P40-43
STEP.3	お役立ち「アイテムCATALOG」	P44-46

STEP.1

冬ドライブ「基本対策」 まず最初に、基本をおさらい！

ガラス撥水コート

ユーザーの好みに合わせた
豊富なラインアップだ



ソフト99

ガラコ・シリーズ

ウインドウ撥水コーティング剤の「ガラコ」シリーズは、塗り込みタイプだけでなく、スプレータイプ、ウォッシャータイプ、ワイパータイプなど多くのラインナップから選べる。セットで使うことで、高い撥水効果を維持し冬ドライブで確実な視界を確保することができる。

ダンロップの乗用車用ハイスベックスタッドレスタイヤ「WINTER MAXX」は、独自のミウラ折りサイプの幅を従来比25%細くしブロックの倒れ込みを抑制。さらにエッジも22%アップすることで氷上ブレーキ性能が従来品「DSX-2」比11%アップ。もちろん、雪上性能、ドライ性能、ウェット性能、環境性能等すべての面で向上。特にライフ性能は48%アップと高い耐久性が自慢だ。



容積が9%アップしたラグ溝がしっかりと雪をつかんで排雪。雪上トラクションが大きく向上。また、パターン外側ブロックを大型化。剛性アップに貢献し、よれないコーナリング性能を実現。

氷上制動性能だけでなく
ライフ性能もアップ！

スタッドレス
タイヤ



最近のスタッドレスタイヤは、耐久性も高くドライ路面を走ってもすぐに減ることはない。また、転がり抵抗に配慮し燃費も悪化しないものが多い。騒音や乗り心地面もしっかりと対策されており、快適性も高い。

冬ドライブの必需品ナンバー1は、なんといってもスタッドレスタイヤ。冬の路面は危険が多く潜んでいる。夏タイヤは気温が7℃を下回ると、ゴムが硬化してグリップ力が大きく低下する。また、気温が0℃を下回ると、路面は凍結しやすくなる。冬のドライブでは、急な天候の変化や路面の変化で夏タイヤでは走行できなくなる可能性が十分に考えられる。だから、冬になったら雪が降っていないくても、低気温下で高い安全走行が可能なスタッドレスタイヤを装着すべきなのだ。

冬ドライブの必需品ナンバー1は、なんといってもスタッドレスタイヤ。冬の路面は危険が多く潜んでいる。夏タイヤは気温が7℃を下回ると、ゴムが硬化してグリップ力が大きく低下する。また、気温が0℃を下回ると、路面は凍結しやすくなる。冬のドライブでは、急な天候の変化や路面の変化で夏タイヤでは走行できなくなる可能性が十分に考えられる。だから、冬になったら雪が降っていないくても、低気温下で高い安全走行が可能なスタッドレスタイヤを装着すべきなのだ。

新年の休暇に故郷までドライブする。そんな計画を立てている方も多いに違いない。そして、冬のドライブは雪や路面の凍結、フロントウインドウの凍り付きやくもりなど気になることがいろいろあり、心配している方も多いのではないだろうか。でも、ご心配なく。愛車に冬ドライブ対策をしっかりと施しておけば、安心して快適なドライブを楽しむことができるのだ。

急な事態に慌てない
事前の準備が肝心だ